

第3期「ひょうご教育創造プラン（兵庫県教育基本計画）」（仮称）策定にかかる検討資料

第2期ひょうご教育創造プラン（H26～H30）

基本理念

兵庫が育む 心豊かで自立した人づくり
～学び、育て、支えるひょうごの教育～

めざすべき人間像

- 知・徳・体の調和がとれ、自立して生涯にわたって自らの夢や志の実現に努力する人
- ふるさとを愛し、互いに支え合い協力しながら、明日の兵庫を切り拓き、日本の未来を担う人
- 我が国の伝統と文化を基盤として、創造性やチャレンジ精神をもって国際社会に貢献できる人

培うべき力

- 心身ともに健康で、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求めめる態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うこと
- 幅広い知識や教養、柔軟な思考力に基づく判断力や創造力、コミュニケーション能力を培い、勤労を重んずる態度を養い、生涯にわたって個性や資質能力を磨き、志をもって自らの未来を切り拓く力を培うこと。
- 一人一人が社会を構成する一員としての責任を自覚し、公共の精神や人権尊重の精神に基づき、よりよい社会づくりに向けて主体的に行動する力を培うこと。
- 生命を尊び、自然を大切に、思いやりや寛容の心をもって多様な人々と共生する態度を養うなど、震災の教訓を踏まえ、地域の人々と手を携えながらふるさと兵庫の発展に貢献する力を培うこと。
- 伝統と文化を尊重し、我が国やふるさと兵庫を愛する態度を養うとともに、異なる文化や価値観を理解し、国際社会の平和や発展に貢献

基本方針

- 1 自立して未来に挑戦する態度の育成
 - (1) 社会的自立に向けたキャリア形成の支援
 - (2) 兵庫型「体験教育」の推進
 - (3) グローバル化に対応した教育の推進
- 2 「生きる力」を育む教育の推進
 - (1) 「豊かな学力」の育成
 - (2) 「豊かな心」の育成
 - (3) 「健やかな体」の育成
 - (4) 幼児期の教育の充実
 - (5) 特別支援教育の充実
 - (6) 私学教育の振興
 - (7) 高等教育の推進
- 3 子どもたちの学びを支える仕組みの確立
 - (1) 学校の組織力及び教員の資質能力の向上
 - (2) 安全・安心な学習環境の整備
 - (3) 家庭の教育力の向上
 - (4) 地域全体で子どもたちを育てる環境づくりの推進
- 4 全ての県民が学ぶ生涯学習社会の形成
 - (1) 生涯を通じた学びの機会・場の充実
 - (2) 文化財の保存・活用
 - (3) 「スポーツ立県ひょうご」の実現

《第1期プラン》

本県では、県民が一体となって「心豊かな人づくり」に取り組み、阪神・淡路大震災からの創造的復興の過程において共生の心を育むとともに、子どもたちがたくましく生きていけるよう、兵庫型「体験教育」を展開し、学校・家庭・地域が連携協力して兵庫の教育を推進してきた。これらの成果を踏まえ、改正教育基本法第17条第2項に基づき、第1期プランを平成21年6月に策定した。

《第2期プラン》

人口減少、少子・高齢化など、大きく変化する社会を子どもたちがたくましく生き抜くために、教育理念に「自立」を加え、社会的自立に向けたキャリア形成の支援等を基本方針に盛り込んだ第2期プランを平成26年3月に策定した。

※教育基本法第17条

政府は、教育の振興に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、教育の振興に関する施策についての基本的な方針及び講ずべき施策その他必要な事項について、基本的な計画を定め、これを国会に報告するとともに、公表しなければならない。

2 地方公共団体は、前項の計画を踏襲し、その地域の実情に応じ、当該公共団体における教育の振興のための施策に関する基本的な計画を定めるよう努めなければならない。

社会的背景・教育的課題

- 子供・若者をめぐる教育的課題
 - ・ 読解力の低下
 - ・ 高等学校における学力層の二極化
 - ・ 自然体験、文化芸術体験の不足
 - ・ 暴力行為、不登校児童生徒数、いじめによる重大事案等の発生
 - ・ 障害の状態や発達段階に応じた指導や支援
 - ・ 増加傾向にある外国籍の子供等への日本語指導等
- 人口減少、高齢化の進展
 - ・ 小、中、高等学校児童生徒数減少
 - ・ 生産年齢人口の減少
 - 《兵庫県の状況(2015年→2030年)》
 - ・ 総人口 : 553万人 → 527万人
 - ・ 年少人口(0～14歳) : 71万人 → 66万人
 - ・ 後期高齢者人口 : 69万人 → 98万人
 - ・ 日本人人口社会減(転出超過) ▲6,657人(2017年)
 - ※福島県(▲8,395人)に次ぐワースト2位
- 地域間格差など地域の課題
 - ・ ふるさと意識の希薄化
 - ・ 地域コミュニティの弱体化(高齢者や困難を抱えた親子などの孤立化)
 - ・ 東京一極集中の傾向が加速し、全人口の4分の1以上が東京圏に集中
 - 《兵庫県の状況》
 - ・ 人口の偏在化(2015年→2030年人口減少率)
 - 神戸・阪神南・阪神北・東播磨・中播磨 : ▲3.3%
 - 北播磨・西播磨・但馬・丹波・淡路 : ▲11.5%
 - ・ 兵庫県から東京への転出(2015年) : 4,955人
- 家庭の状況変化(三世帯世帯の減少と一人親世帯の増加)
- グローバル化の進展
 - ・ 人間の生活圏の広域化、人材獲得競争によるグローバル競争の激化
 - ・ 世界のGDPに占める日本の割合は低下傾向
 - ・ 貧困や紛争、感染症や環境問題、エネルギー資源問題など地球規模の人類共通の課題が増大
- 急速な技術革新
 - ・ Society5.0の到来、IoTやビッグデータ、人工知能等をはじめとする技術革新が一層進展
 - ・ 日本の労働人口の相当規模が技術的には人工知能やロボット等により代替可能となる一方、新たな仕事生まれる可能性
 - ・ 労働市場の流動化
- 教育の機会均等
- 教師の負担(学校に求められる役割増大に伴う負担)
- 体育・食育面での課題
 - ・ 運動する子供とそうでない子供の二極化傾向
 - ・ 食習慣の乱れ
- 社会人の学び直し等の生涯学習の推進の重要性
- 迫り来る巨大災害への対応

次期本県教育振興基本計画において掲げるべき事項の例

※図が示した第3期教育振興基本計画(答申)の項目を参考に記載

- 確かな学力の育成
 - ・ 学力向上施策の推進(主体的、対話的で深い学びの視点からの授業改善等)
 - ・ 新学習指導要領への対応(英語教育、道徳の教科化、プログラミング教育、理数教育や歴史総合などの新教科、教科横断的な視点等によるカリキュラム・マネジメントの確立)
- 豊かな心の育成
 - ・ 兵庫型「体験教育」の推進
 - ・ 県いじめ防止基本方針等を踏まえたいじめ防止対策への対応
 - ・ 「兵庫の防災教育」の推進
- 健やかな体の育成
 - ・ 体力づくり
 - ・ 食育の推進
- 社会的・職業的自立に向けた能力・態度の育成
 - ・ 兵庫型「体験教育」の推進(再掲 ※豊かな心の育成)
 - ・ キャリア教育の推進
- 家庭・地域の教育力の向上、学校との連携・協働の推進
 - ・ 地域学校協働活動の促進
- グローバルに活躍する人材の育成
 - ・ 小中高を通じた英語教育の強化、国際交流の推進
 - ・ 地域の伝統・文化を継承・発展させるための教育の推進
- スポーツ・文化等多様な分野の人材の育成
 - ・ 2020年東京オリンピック・パラリンピックを見据えた人材育成
- 人生100年時代を見据えた生涯学習の推進
 - ・ 日本遺産認定、文化財の総合的な保存活用
 - ・ 「ワールドマスターズゲームズ2021関西」を契機とした生涯スポーツの振興
- 多様なニーズに対応した教育機会の提供
 - ・ 特別支援教育の充実
 - ・ 貧困家庭への支援
- 新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導体制の整備等
 - ・ 教職員の多忙解消
 - ・ 教員の資質能力の向上
- ICT利活用のための基盤の整備
 - ・ ICT環境整備
- 安全・安心で質の高い教育研究環境の整備
 - ・ 学校施設の老朽化対策
 - ・ 学校生活の質的向上を目指した環境改善
- 児童生徒等の安全の確保
 - ・ 「兵庫の防災教育」の推進(再掲 ※豊かな心の育成)
- 特色豊かな高等教育の推進
 - ・ 但馬地域の観光・文化をテーマとした専門職大学の設置
 - ・ 県立大学の運営